

廿日市市消防団

機能別団員制度について



廿日市市は瀬戸内海から西中国山地へと広がる雄大な自然に恵まれています。また、沿岸部・内陸部・山間部・島しょ部から構成され多様な地域資源を有しています。

当市消防団は旧市町村単位に置かれる5つの地域分団から構成されており、『**消防団は団結が一番!**』をモットーに地域の安心・安全のために活動しています。

機能別団員発足の経緯

当市消防団は団員数の減少、平均年齢の上昇、市外勤務者やサラリーマン団員増加による、昼間の災害への対応が課題となっています。

平成28年2月、これらの課題を克服するため、活動内容を特定し基本団員の活動を補完する『機能別団員制度』導入を組織決定しました。その後、条例等の改正、物品等購入予算の編成を経て平成29年4月、機能別団員が所属する3つの隊を発足しました。



各隊の概要

- ・消防協力隊 消防団員や消防職員のOBから構成され、豊富な知識や経験を生かして基本団員の活動の後方支援や住民への啓発活動などを行います。
- ・女性消防隊 女性のみで構成され、男性中心であった消防団活動に多様な視点での活動を取り入れ、入団促進活動や幼児への啓発、救急講習の支援などを行います。
- ・学生消防隊 市内在住または市内に通学する大学生等から構成され、大学生の「専攻学科能力」や「行動力」を生かした啓発活動や広報、大規模災害時の後方支援などを行います。



今後の活動について

このたび、機能別団員制度を導入したことにより幅広い層の人材が消防団活動に参加するようになったことは、消防団にとっても地域防災にとっても大きな意義のあることです。発足から間が無いため活動実績はまだ少ないですが、今後は各隊の隊員が地域防災について真剣に考え、主体的かつ継続的に活動を展開し、地域防災力の向上に繋がられるよう、消防団全体が一丸となって取り組んでいきます。

○消防団の概要（平成29年4月1日現在）

団長 伊藤 博 条例定数 732人（内、機能別団員70人）

実員数 661人（内、機能別団員33人）

（男性団員627人・女性団員34人）